



良質な肉を
どう確保し
活用するか？

獣害を資源に 変える！ ジビエ活用講座



9月24日

会場：足助交流館（視聴覚室）

13:00～16:00

無料

募集人数50名

（応募者多数の場合は抽選）

捕獲した猪や鹿を資源に変える方法、
良質なジビエ肉を確保する方法、
山恵との座談会など

豊田市の昨年度、獣害で捕獲された猪は2200頭余になりますが、山恵への入荷は60頭にとどまりました。鹿は600頭余の捕獲で入荷は173頭で28%の利用率でした。残りは埋設や焼却になりました。この山の恵みである猪や鹿を有効に活用したい思いから研修講座を企画いたしました。



講師木下一成氏



講師安田 亮氏



問合せ・申込み：株式会社 山恵

〒444-2505 豊田市新盛町菅田20-1

Tel. 0565-98-0836 Fax. 0565-77-7196

E-mail inosisi-yamakei@asuke.aitai.ne.jp

主催：豊田市農政企画課・(株)山恵 | 令和5年度ジビエ普及推進事業

インターネットでも検索して
いただけます！

豊田市 ジビエ普及のための研修講座 | Q



猪・鹿の良質な肉を 確保する講座

講師：木下一成氏



- ・昭和33年生まれ
- ・東海大学海洋学部卒
- ・平成2年(株)一成を設立
代表取締役就任
- ・兵庫県立大学・明石高専・関西
学院大学非常勤講師を歴任
- ・農林水産省の野生鳥獣被害防止マニュアルなどを手掛ける。
県内外の講演活動多数

捕獲した猪や鹿に病気がないか、できるだけ猪や鹿にストレスを与えずに捕獲するにはどうしたらよいかなど、良質な肉を確保するための方法を学ぶ講座です。

捕獲した猪・鹿を 活用する講座



講師：安田 亮氏



- ・島根県生まれ
- ・名城大学法学部卒
- ・平成5年、邑智町役場入庁、
合併後美郷町美郷バレー課
勤務
- ・地域づくりや人の暮らしを
評価される「山くじら地域ブランド」を創出し、全国に先駆
けて学校給食や皮革製品加工などを通じて地域づくりを
実践

捕獲した猪の約80%を地域資源として活用する「おおち山くじら」の取組を学ぶことで、豊田市で捕獲される猪や鹿の活用を考える講座です。

キリトリ線 ✂

キリトリ線 ✂

参加申込書

- 申込締切：令和5年8月30日(水)
- 申込方法：① FAX：0565-77-7196
② メール：inosisi-yamakei@asuke.aitai.ne.jp

(フリガナ)			
参加者氏名			
住所	〒		
電話		E-mail	
興味がある内容 (複数選択可)	移住・二拠点生活・狩猟・ジビエ料理・その他()		

※申込書に記載された個人情報は、豊田市と山恵でジビエ普及推進事業にのみ使用します。